

消費増税対策としての原価管理

～新規開発システムを用いた運用シミュレーションとその活用法～

来春、17年ぶりに消費税率が8%に変更されようとしています。また、その後、10%まで税率が引き上げられる議論がなされていますが、保険診療は非課税で診療報酬改正により増税分が補填されてきた経緯があるものの、その範囲が限定的であることは否めません。

税負担軽減策は、「増収」か「コスト削減」の選択肢しかありません。どこをどれだけ削るかは、現場データが可視化され、それを根拠とした目標設定が、その具体策に向けた起点となります。

弊社では、かねてより「費用データの的確な把握から原価管理体制構築へ」を念頭に、*mediThink*という『コスト管理型経営』を実現するためのサービスをご提供させて頂いておりますが、これらをワンストップサービスとしてご提供すべく、製品としてシステム化を行いました。(一部、開発中)

1. *mediThink-SPD* (物品管理) → **物品管理システム**
2. *mediThink-material* (医材の請求・消費照合分析) → **照合分析システム**
3. *mediThink-cost* (原価計算) → **診療科別・部門別原価計算システム**
4. *mediThink-decision* (経営意思決定支援) → **経営ダッシュボード**

そこで、本セミナーでは、そのシステムをご紹介します。併せてその活用法について実例を用いてご紹介させていただきます。なお、*mediThink-SPD*という物品管理システムは、中小規模病院様向けですが、その活用法については病院規模を問わずご参考にして頂けるセミナー内容になっております。

▼セミナー概要

- 消費増税シミュレーション
- 変動費管理の要となる物品管理
- 供給管理・購入管理・消費管理・在庫管理の実際
- 定数管理からできるコスト削減
- 医事と物品管理の連携
- 原価計算における物品管理の重要性
- 原価計算でできるコスト削減のための目標設定 など

- 物品管理システム「*mediThink-SPD*」
照合分析システム「*mediThink-material*」のご紹介
・標準機能紹介とデモンストレーション

- ワンストップサービス「*mediThink*」のご紹介
・「*mediThink-decision*」とは・・・
「*mediThink-SPD-material-cost*」から集められたデータを基に表やグラフなどに加工して一覧表示するシステムを言います。

▼講師

メディプループ有限会社 代表取締役 足立 憲

京都第一赤十字病院在職中の平成2年から相互配賦法による原価計算を実施し、各種情報システムの導入に携わる中で同法の精度向上を行いながら原価管理実務に携わってきた。また、平成17年の同社設立後は、変動費管理の要とも言える物品管理体制構築支援を行いながら、同法による原価計算を用いて収支改善を支援している。

▼共催：メディプループ(有) コスモシステム(株)

▼開催概要

- ・日時：2013年11月28日(木) 13:30～16:30
- ・会場：ドーンセンター 5F 大会議室2
〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号
TEL 06-6910-8500
(地図は裏面を参照してください。)
- ・参加費用：3,000円 (消費税込み)
(※当日はお釣りの必要のないようにご準備ください。)

▼お申込み

- ・参加ご希望の方は、以下の項目をメール (info@mediprove.co.jp) もしくはFAX(本紙裏面)にてお申し込みください。
申込内容：病院名、住所、電話番号、参加者職氏名
(席数に限りがありますのでお早いめにお申し込みください。)
※メディプループ(有)のホームページからのお申込みもできます。

●お問い合わせは下記までご連絡ください●

メディプループ有限会社

〒617-0852 京都府長岡京市河陽が丘1-22-6
携帯：090-9698-9428 (足立)
電話・ファックス (075)954-4117

E-mail: info@mediprove.co.jp http://www.mediprove.co.jp

コスモシステム株式会社

〒514-0033 三重県津市丸之内18-15近坂ビル2F
電話(059)264-7203 ファックス (059)264-7204

E-mail: info@cosmossystem.co.jp
http://www.cosmossystem.co.jp

